

Mizuho Bangkok Daily Market Report

Dated of 2024/02/14

Forex

	Close	CHANGE
USD/THB	36.05	0.16
JPY/THB	0.2390	-0.0012
USD/JPY	150.80	1.45
EUR/THB	38.60	-0.06
EUR/USD	1.0709	-0.0063
USD/CNH	7.231	0.016
SGD/THB	26.67	-0.02
AUD/THB	23.26	-0.17
USD/INR	83.01	0.01
USD Index	104.96	0.79

Bond

	Close	CHANGE
5Y (THB)	2.264	-0.004
10Y (THB)	2.553	-0.018
5Y (USD)	4.316	0.179
10Y (USD)	4.314	0.135

Commodity

	Close	CHANGE
GOLD	1,992.9	-25.3
WTI (Oil)	77.87	0.95
Copper	8,260.0	25.0

Stock

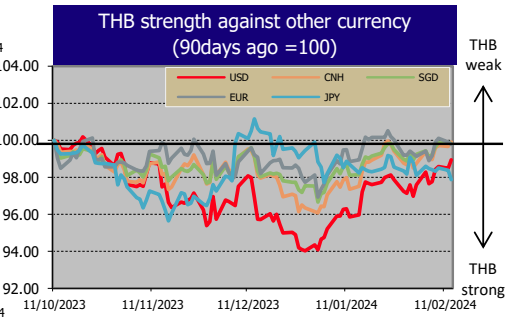
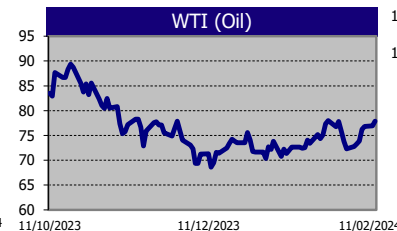
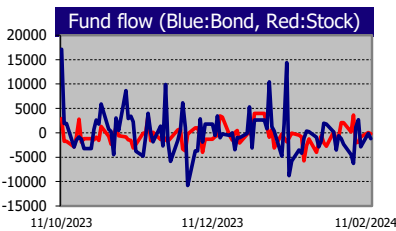
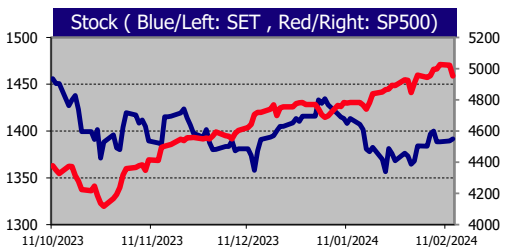
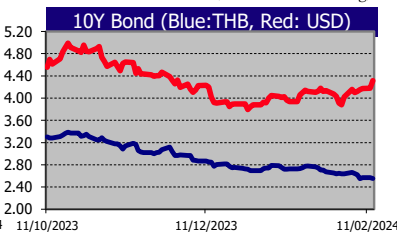
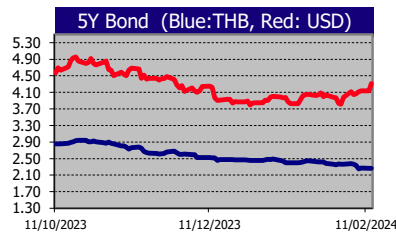
	Close	CHANGE
SET (TH)	1,391.73	2.43
NIKKEI (JP)	37,963.97	1066.55
DOW (US)	38,272.75	-524.63
S&P500 (US)	4,953.17	-68.67
SHCOMP (CN)	2,865.90	0.00
DAX(GER)	16,880.83	-156.52

Fund Flow (Overseas Investors)

	Close	CHANGE
Stock net flow	(201)	-266.9
Bond net flow	(1,217)	-1075.7

*compared with previous day

(Source: Bloomberg)



Yesterday's market summary

●ドルパーツ

昨日のドルパーツは上昇。35パーツ台後半で取引を開始。タイ1月消費者信頼感指数が予想を上回り、6カ月連続で改善を示したことが好感され、ドルパーツは同日夜間に米1月CPIという重要イベントを前にしながらも下落。バンコク時間引け間際には同日安値をつけた。海外時間、米1月CPIは宿泊等のサービス価格の上昇が牽引する格好でヘッドライン・コア共に予想を上回り、強いCPIという印象を市場に与えた。米金利は短期ゾーンの前日比約+20bpsを中心に上昇し、ドルパーツは節目の36パーツを上抜け、36.05で終えた。終値としての36パーツ台は昨年11月以来、約3カ月ぶり。

●ドル円その他

昨日のドル円は大きく上昇。149円台半ばで取引を開始。日経平均が高く寄り付き、日中も騰勢を維持する中でドル円はしっかりと推移。タイ時間の夕刻には149円台半ばまで水準を切り上げた。海外時間、注目されていた米1月CPIはヘッドラインとコア共に予想を上回る結果で短期ゾーン主導で米金利が大きく上昇。ドル円はCPI発表前に149円台前半まで戻っていたが、発表後には一気に150円台半ばまで急騰。その後も上値を伸ばして150.80レベルで引けた。

Bangkok Dealer's Eye

昨日は強い米CPIを受けて米金利は上昇、ドルも買われる展開となりました。3月の利下げは月初の強い雇用統計を受けてすでに可能性が剥落していましたが、今回のCPIで、6月の利下げの可能性も低下しています。Fedにとっては市場の楽観的な見方を牽制する姿勢が続いていたことから、その通りの数字が出たとも言えるところですが、ソフトランディングを狙う上では再びインフレ上昇となると難しいかじ取りを迫られる状況となるかと考えます。また、利下げが遠のけばその分、他国との金利差の縮小は起こらないため強いドルが基本路線であることには変わらないのかと思います。ドル円は150円台半ばへと上昇しており再び介入警戒感が高まってくるものの、介入があったとしても金利差から生じる円安トレンドを止めるまでには至らないのではないかと考えます。(塩谷)